

事務事業評価表

9

○基礎情報

課名		会計課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	-	公金の管理を適正に行い、安全かつ有利な運用を図る	竹内 一郎	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	8 人	0 人	0 人	4 人	2,403 時間	25.0 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
資金運用実績額(歳計現金)	749千円	1,000千円	1,086千円	755千円	344千円	9千円
資金運用実績額(基金)	18,273千円	10,000千円	14,846千円	18,273千円	6,925千円	4,083千円
例月出納検査の指摘事項件数	5件	0件	1件	7件	27件	18件

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点			H28決算(単位:円)					
1	現金出納、財産の記録及び管理事務	日々の出納事務を正確且つ迅速に行い、適正な公金の出納(収納・支出・記録)及び財産の管理を図る。	定例・定型的事業				2.48	一般	11,777,000 ----- 11,651,327	支払不能、管理不能件数	0件	0件	S	
2	公金の管理・運用事務	公金等の資金計画の精度をさらに上げることで、より効率的な資金運用を図る。	定例・定型的事業				1.15	一般	0 ----- 0	資金運用実績額 歳計現金 基金	1,000千円 10,000千円	9千円 4,083千円	E	
3	支出負担行為及び支出命令の審査事務	法令を遵守し、支出命令等が正しく執行されているか確認する。	定例・定型的事業				2.93	一般	0 ----- 0	例月出納検査の指摘事項件数	0件	18件	C	
4	決算書の作成、市長への提出事務	前年度の収入・支出を的確に把握し、決算書を調整することで市政の成果を公表する。	定例・定型的事業				0.86	一般	0 ----- 0	提出時期	7月上旬	6月下旬	S	
5	財務会計システムの研修事務	財務会計システム研修を行い、職員の能力向上を図る事で、財務事務をさらに効率的かつ的確に執行する。	定例・定型的事業				0.37	一般	0 ----- 0	財務会計研修	4.8.10月	4.8.10.11.12.3月	B	
6	指定金融機関等に関する事務	茅ヶ崎市指定金融機関等と連携を図り、公金の収納又は支払い事務を支障なく行う。	定例・定型的事業				1.13	一般	0 ----- 0	指定、告示、検査	年1回	年1回	S	

7	物品出納事務	在庫物品の出納を適正に行い、無駄のない在庫管理を行う。	定例・定型的事業				0.89	一般	2,260,000 ----- 2,187,000	記録もれの件数	0件	0件	S	
8	内部情報系システム最適化(会計課)	新財務会計システムの運用体制の充実及び操作方法の習熟を推進し、円滑な運用を図る。	定例・定型的事業				0.53	一般	0 ----- 0	管理日数	年365日	365日	S	
9	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.20	一般	0 ----- 0	-	-	-		
10	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.35	一般	370,000 ----- 300,975	-	-	-		
合計							10.88	予算 決算 繰越	14,407,000 ----- 14,139,302 ----- -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>会計課の第2次実施計画の事業数は「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き8事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、もっとも多かったのは「S」の5事業であり、以下「B」1事業、「C」1事業、「E」1事業となっている。</p> <p>指標の達成状況に着目すると80％以上達成できた事業が6事業、達成できなかったものは2事業であり、概ね順調に事業が実施できたと考えている。</p> <p>事業の成果に着目すると、成果があった事業が5事業、今後見込める事業が1事業、経済情勢の影響により今後の成果が見込めないとした事業が1事業であり、評価判断が難しい部分はあるがしっかりと事業内容を検討する必要がある。</p> <p>審査事務については、限られた人員体制の中で、期限内に正しく支払いを行うためには、管理・監督者も含めた財務会計システム全体のレベルアップが必要であり、関係課かいとも連携し、職域も勘案した効果的な研修等を継続的に行う事が大事である。</p> <p>一方、職員の時間外勤務に着目すると、総時間2,403時間、一人当たり換算すると月平均25時間であり、全庁的な平均時間よりも超えている状況である。会計課の事業は出納閉鎖期間の4月、5月に伝票が集中することから時間外が突出する部分があるが、手法や課内体制のあり方などについて見直しを検討し、時間外の縮減に努める。</p> <p>会計課は事業の性質が定例的な事業であるため、日々適正に業務を遂行することが使命であるが、よりよい課内体制や手法の見直しなどを行い事務改善をする必要がある。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
5	財務会計システムの研修事務	人事異動等により新たに財務事務に携わるようになった職員を対象とした研修を行った結果、例月出納検査での指摘件数が、前年度の27件から18件に減少した。

4 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-